

## 釣床反射療法

黒澤 希

先日、釣床反射療法なるものを體驗せしかば、ここにその感想等を記す。

武藏境驛より歩みて式拾分程、住宅街の中に突如現はるる木々が圍む古民家。恰も隠れ家の風情にして、時止りたる如き懐しき空間なり。

玄關先にて微笑みながら吾を出迎へたるは反射療法士の菊川氏なり。

疊敷の室内に招かれ、香草茶を給へつつ反射療法の説明を聞き、施術の際に使ふ好みの香油を決定す。

更に釣床に乗るを望みて檢索し辿り着きたる旨を話すと、施術に使ふ坐る釣床とは別の、寝ね得る大きな釣床に乗せて貰ひたり。教へ通り吊りてある方向に對し横向に腰掛くる如く乗りて横たふ。包み込まれる安定感と丁度良き浮遊感が大層心地好し。

自宅にも一つ欲しくなれど、最近出回りたる安價なる小型釣床では縦向に寝ぬる他なく、この乗り心地は得られずといふ。試しに縦向に寝ぬれば横向と違ひて體に沿はず窮屈なり。

その後施術用の釣床に移り、反射療法を受く。じわりとほぐされて寛ぎたるも、首筋や肩の凝り、眼精疲労、胃腸の働きの弱さ等、日頃忙しさに扮れ手入れ怠りたる體の不調を言ひ當てられて、この機會にきちんと考へねばと思ひたり。

然は言へ、縁側の向うには花々が咲き、緑が繁り、子供達の遊ぶ聲聞え、癒しの時間を與へられけり。貴重なる體驗なり。